



マリンバイオ同好会 活動報告No. 28

～ 2012年 2月 ～

☆ 水族館へ寄贈（2月17日）

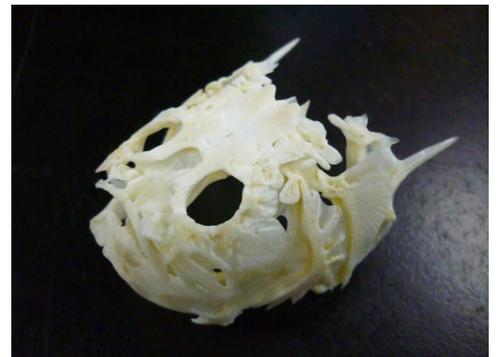
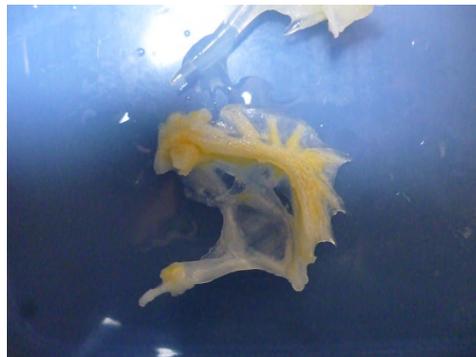
3月14日にオープンする京都水族館に、マリンバイオ同好会が飼育している一部の魚を寄贈することになりました。飼育生物紹介のため、栽培漁業実習棟内を回ったあとにコブダイ、インダイ、オニカサゴ、オニオコゼ、アオハタなどを寄贈しました。「大切に育てます」と言っていたが、喜んでいただけたのがなによりです。



[飼育生物の紹介と積み込みの様子]

☆ 頭部骨格標本

アオミシマの頭部骨格標本です。解剖の時、ナヌカザメの胃袋から、やや消化された状態で取り出されたもので製作しました。



[アオミシマ頭部骨格標本]

煮て肉をはがし、写真を撮りながら骨をばらしていき、オキシドールを使って色や脂肪を抜いていきます。

普通は骨の接着に軟骨が再現できるため、シリコンガンを使うようですが、「シリコンはよく伸びるので扱いづらい！」という製作者は瞬間接着剤を愛用しています。軟骨の再現は、ティッシュを細かくちぎってまるめ、少しボンドを含ませて再現しています。恐れ入ります。

マリンバイオ同好会は、水温が下がる冬場に大きな活動ができなくなってしまいます。そこで、骨格標本を全員が作れるように練習し、展示していけたらと思っています。